

福島県環境創造センターに係る見学・体験学習プログラム		
作成推進校		福島県立新地高等学校
対象児童・生徒		第2学年63名
事前学習	計画	パンフレットにより展示室を調査する。 燃料電池に関して調査する。
	期待できる成果	施設の概要を知ること、原子力発電所事故後の復興と放射線に対する関心が高まり、意欲的に見学する動機づけとなる。
見学・体験学習	計画	福島第一原子力発電所事故に関する説明を受ける。 放射線に関する説明を受ける。 燃料電池に関する体験学習を行う。
	期待できる成果	福島県の復興状況や原子力発電事故の概要とその後の取り組み、放射線に関する知識を身に付けることができる。再生可能エネルギーや環境問題についても学習することができ、福島県産の食の安全についても理解することができる。
事後学習	計画	パンフレットによる振り返りを行う。 プリントによる燃料電池体験の振り返りを行う。
	期待できる成果	学習したこと、興味・関心を持ったことを再度確認することで、これからの生活に活かすことができる。